

## 会議の概要(議事録)

会議の名称	(番号) 3-08	平成24年度第6回すみだ環境共創区民会議		
開催日時	平成24年9月20日(木) 18時30分から20時45分まで			
開催場所	墨田区役所2階 21会議室			
出席者数	<p>【委員15人】          阿久沢委員 伊藤委員 久保田委員 小池委員 小木首委員 島崎委員          清水委員 高橋委員 中島委員 永岡委員 野島委員 森下委員          柳委員 横井委員 吉田委員</p> <p>【事務局3人】 環境保全課長、環境管理担当主査及び職員</p>			
会議の公開 (傍聴)	公開(傍聴できる)	傍聴者数	0名	
議 題	<p>1 基本目標1「健康と安全を守り、安心とやすらぎのある住みよいまちづくり」について</p> <p>2 その他</p> <p>(1)すみだまつり(環境フェア)の参加について</p> <p>(2)スポーツGOMI拾い大会について</p> <p>(3)その他</p>			
配 付 資 料	<p>1 墨田区の公害の現状について</p> <p>2 すみだまつり(環境フェア)について</p> <p>3 自転車専用レーンについて</p>			
会 議 概 要	<p>1. 基本目標1「健康と安全を守り、安心とやすらぎのある住みよいまちづくり」について(環境保全課指導調査担当主査 山田和伸氏)</p> <p>(1) 墨田区の公害の現状について</p> <p>本日は基本目標1ということで、「健康と安全を守り、安心とやすらぎのある住みよいまちづくり」という中で、「墨田区の公害の現状」について説明させていただきます。今は環境保全課と名乗っていますが、以前は環境対策課、その前は公害課というのがこの課のルーツだと思います。その公害現象についていろいろと苦情を一手に引き受けているのがうちの担当です。</p> <p>それではレジメに沿って説明させていただきます。初めに発生源別苦情受付件数の推移ですが、平成14年度から23年度まで年間300件弱の苦情が寄せられています。また、現象別苦情受付件数の推移ですが、公害というと典型7公害という大気汚染、水質汚染、土壌汚染、騒音、振動、悪臭、地盤沈下があります。それぞれの項目ごとに説明をさせていただきます。</p> <p>大気汚染については、大気汚染常時測定を委託により家庭センターと区役所の分室で毎日空気を採取して行っています。その他、有害物質調査、適正管理化学物質届出、光化学スモッグ対応、ダイオキシン類調査、アスベスト対策、燃料調査など</p>			

を行っています。まず、二酸化硫黄経年変化の長期的評価を載せています。平成13年に三宅島が噴火をしたときは4日間連続して環境基準を超えたことがあります。それだけ膨大な二酸化硫黄が出たこととなります。その後は環境基準以下となっています。次に、浮遊粒子状物質経年変化ですが、環境基準を下回り改善の方向で推移しています。しかし、平成23年度の区役所分室の長期的評価において未達成の評価となりました。これは11月に二日連続して1日の環境基準を超えたことにより未達成となりました。二酸化窒素経年変化についても改善の方向で推移しています。次に、光化学スモッグ注意報の発令状況についてですが、平成20・21年度は注意報は一度も発令されませんでした。その後は数回発令されています。注意報のピークは昭和48年度の45回でした。次に、ダイオキシン類測定調査についてですが、亀沢のぞみの家とすみだ生涯学習センターで年1回測定しています。測定結果はどちらも大気環境基準を大きく下回っています。すみだ清掃工場でも測定を行っています。その測定の単位ですが、亀沢のぞみの家等はピコグラム、清掃工場はナノグラムを使用しています。その両者を比較するには、清掃工場の数値の小数点以下の0を3つ除けば比較できると思います。清掃工場の方が1桁少ない数値となっています。それは、ダイオキシン類は不完全燃焼させることが原因の一つと考えられているからです。

次に水質汚染についてです。5月、9月、11月、2月に水質調査を行っています。その内、9月、2月については、隅田川水系浄化対策連絡会(9区)で一斉に行っています。BOD経年変化については、5mg/l以下が望ましく、全体的に2~3mg/lで推移しています。また、溶存酸素経年変化については、5mg/l以上が望ましいところですが、それ以下のところもあり、生き物が安全・安心して住める状況ではないのかなと思います。今年は川の水面に魚が大量に浮く事故が2回起こりました。6月25日に旧中川で、9月4日に隅田川で起こりました。原因としては、市街地の洪水防止のため、雨水を含んだ下水の放流が考えられます。平常水位の3倍を超えると、旧中川のポンプ所と両国ポンプ所で放流を行います。年間20回程程度の放流が行われています。

次に土壌汚染ですが、有害物質等を扱うメッキ工場、ドライクリーニング業、印刷工場等は廃業する工場が増え続けています。墨田区においては、大きな土壌汚染事故は起こっていません。

次に騒音・振動です。東京スカイツリーの開業に伴い、心配される区民の方が多くなっています。しかし、環境アセスメントの調査や8月下旬からの東京スカイツリー周辺の道路交通騒音・振動・交通量の調査を行いました。特に大きな変化はありませんでした。しかし、今後も引き続き調査を行っていきます。東京スカイツリーの開業に伴う新たな問題としては、ヘリコプターの騒音です。先日も火事取材と思われるヘリコプターが夜間に飛行を行いうるさいとの苦情が寄せられました。

次に悪臭の問題ですが、工場で扱う有機溶剤や動物質原料から脂を搾り出す等があります。臭気は区民の方にパネルーをお願いして、測定を行っています。サンプルを採取して、それを希釈してどこまで臭気を感じるかという調査です。ビルビッ



	<p>下水の放流が原因と考えられる。放流によりヘドロが巻き上げられ酸欠になる。両国ポンプ所の放流は毎秒 44 トンで行われている。</p> <p>放射能汚染について、基準値を超えていないから安心とは言い切れない。安心の捉え方を考え直した方がよい。</p> <p>放射能測定データはホームページで詳細に掲載している。確認をお願いします。</p> <p>2. その他、情報提供等</p> <p>(1) すみだまつり(環境フェア)について</p> <p>事務局より 10 月 13 日・14 日のすみだまつりのブースの位置、9 月 11 日の分会で決定したパネルによる PR 及びすみだ環境クイズラリーの手伝いについて報告があった後、PR 用パネルの内容について意見交換を行った。</p> <p>【主な意見】</p> <p>プランの基本目標 1～5 について、それぞれパネル 1 枚を使ったほうがよい。何がポイントなのか。すみだ環境共創区民会議よりプランの基本目標 1～5 を周知すべきだ。</p> <p>分会ではすみだ環境共創区民会議を PR する方針で検討をした。</p> <p>前回も言ったが、プランを前面に押し出した方がよい。</p> <p>プランの冊子も当日置いた方がよい。</p> <p>プランの基本目標 1～5 について、実践してもらうことが最も重要なことだ。そのために、パネルの他に話を聞いたり、提案を受けることも重要だ。</p> <p>(事務局)</p> <p>すみだ環境の共創プラン&lt;改定版&gt;の概要版 4・5 ページを基に、基本目標 1～5 についてパネルを作っていく。分会の第 2 回開催を提案したい。第 2 回分会でパネル(案)とクイズの問題について了承いただきたい。10 月 2 日(火)午後 6 時 30 分から第 2 回分会の開催を提案したい。</p> <p>第 2 回分会の会場等については、事務局から連絡をお願いします。急なことで申し訳ないが、委員の方の出席をお願いします。また、10 月 13 日(土)14 日(日)従事可能な方の調査をしたいので、従事できない方についても 10 月 28 日までに事務局まで電話及びメール等で連絡をお願いします。</p> <p>(2) スポーツ G O M I 拾い大会について</p> <p>事務局から情報提供。</p> <p>11 月 17 日(土)午前 10 時から正午 錦糸公園にてスポーツ G O M I 拾い大会の開催。区のお知らせ 10 月 11 日号に掲載予定。</p> <p>(3) 打ち水ウィークのホームページ掲載のお知らせ</p> <p>事務局からホームページ掲載の情報提供。</p> <p>(4) 墨田区の自転車専用レーンの整備状況について</p> <p>事務局から墨田区の自転車専用レーンの現状について説明をした。</p> <p>3. 次回の検討事項について</p> <p>会長より、次回 10 月 18 日は基本目標 4 について検討を行うことが説明された。</p>
所 管 課	区民活動推進部 環境担当 環境保全課 環境管理担当 内線 5463